

令和7年度 進路だより

わくわくワーク 第2号

令和7年7月18日
富山県立しらとり支援学校

第1回目の高等部就業体験が6月12日から25日までの10日間行われました。通常の作業班や事業所での体験を通して働く意欲を高め、職業生活や社会生活に必要な知識や技能を身に付け、進んで社会参加していく態度を養うことを目的としております。

校外での就業体験は2年生と3年生を対象とし、今回は、29か所の事業所のご理解、ご協力を得て実施することができました。参加した生徒にとっては、貴重な学習の機会となり、卒業後の進路に向けて自分の課題に気付いたのではないかと思います。学校で学習したことを体験先でも発揮することができ、達成感を得られた生徒、初めての体験で緊張し、挨拶や報告の際に声が出なかった生徒など、それぞれ感じたことがあったと思います。体験で終わることなく、気付いた課題一つひとつに真摯に向き合い、その課題を解決するために、本人、保護者、学校が情報を共有し、意見を出し合うことが大切だと思います。

子供たち一人一人が希望する進路に近付けるよう努めてまいりますので、保護者の皆様には、ご理解、ご協力をよろしくお願いします。

(教頭 青山 徹)

第1回高等部就業体験(6月12日~25日)

就業体験は、進路選択、進路決定のための大切な学習の機会です。生徒一人一人が目標をもって就業体験に取り組み、それぞれに成長がみられました。以下に、生徒の様子や感想を紹介します。

<校内就業体験>

1年生

<作業内容>ペーパークラフト班での作業

<体験の感想>ちらしごみ箱や新聞ごみ袋作り、はさみシュレッダーの作業をしました。新聞ごみ袋の折り目を1枚ずつしっかり折りました。1日で159枚折りました。

初めての就業体験、がんばりました。



ちらしごみ箱作り

<校外就業体験>

セーナー苑(生活介護事業所)

<作業内容>アルミ缶のリサイクル

<体験の様子>アルミ缶をプレス機に入れ、ペダルを踏んでつぶすリサイクル作業をしました。箱には50個のアルミ缶が入っていましたが、手を止めずに集中して、最後まで行うことができました。



B 型いいね（就労継続支援 B 型事業所）

＜作業内容＞給湯器の解体、箱折り、岩瀬浜の清掃
＜体験の様子＞手袋を着け、ドライバーを使ってネジを外したり、ニッパーを使って銅線を切ったりしました。立って作業を続けました。銅板を金づちでつぶすのは難しかったけど、できるようになりました。



オレンジワークス（就労継続支援 A 型事業所）



＜作業内容＞除草作業、ポスティング、車の清掃作業、カードの仕分け作業、床清掃
＜体験の感想＞除草の仕事は、きれいになってうれしかったです。車の清掃は、ピカピカになって頑張った気持ちになりました。ポスティングでは、新聞を落とさないように配るのが大変だったけど、頑張りました。

就業体験を終えて

今回の校外就業体験先からいただいた評価より、成果と課題を抜粋しました。就業体験をもとに生徒が自分の現状に気付き、なりたい自分の姿を思い描きながら、それに向かってステップアップできるように、今後も学校と家庭で連携しながら支援していきたいと考えています。

＜成果＞

- ・挨拶や報告は大きな声で言えていました。
- ・自分の思いを伝えることができていました。
- ・日頃から家で手伝いをしていることが作業に活かされていました。これからいろいろな経験を積んでください。
- ・一度助言したことが、次の日には改善することができていました。
- ・作業と休憩（ON と OFF）との切り替えがうまくできていました。

＜課題＞

- ・「ありがとう」「ごめんなさい」を言える気持ちのよい職場になります。
- ・困ったことや質問があるときに、自分から伝える方法が身に付くとよいです。
- ・働く上で体力は必要です。規則正しい生活を心掛けてください。
- ・休憩時間には落ち着いて過ごすことができるように、一人でできることや余暇活動を増やしてほしいです。

障害福祉サービス事業所合同説明会

7月25日（金）に「障害福祉サービス事業所合同説明会」を開催します。



39の事業所が来校され、各担当者から仕事や活動内容、事業所の様子等を個別に聞くことができます。高等部卒業後の進路を考える上で参考にさせていただきたいと思います。是非ご参加ください。